

山口情報芸術センター [YCAM]

未来の山口の授業
ネットにくらす、わたしのひみつ2021年11月～2022年1月（全12回開催）
インターネット見る、見られるの向こう側 ——
これからのネットでの「くらし方」を探求しよう

山口情報芸術センター[YCAM]では、インターネットにおける自身と他者との「見えないコミュニケーション」について学ぶオリジナルの教育プログラム「ネットにくらす、わたしのひみつ」をオンラインで実施します。

このプログラムは、YCAMが開発した教育プログラムを紹介するイベントシリーズ「未来の山口の授業」の一環として実施するもので、YCAMが2020年から展開している、情報とインターネットの未来をテーマとした研究開発プロジェクト「鎖国[Walled Garden] プロジェクト」の成果を応用して開発しました。

このプログラムでは、SNSにおける写真投稿を例に、参加者が情報の発信者と受信者の両方の立場を体験していきます。そこから分かったことを話し合うことで、情報の送信者と受信者、双方の立場の特性を再考していきます。

インターネット上のコミュニケーションの特性を、立場の違いから捉えようとする本プログラムを通じて、技術の発展とともに変わり得るルール（ネットリテラシー）の可変性について学んでいきます。この機会にぜひご体験ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



「私はネットでできている？」
(2021年/撮影: ヨシガカズマ)

多彩な教育普及プログラムを全国に発信 ―― 未来の山口の授業



YCAMが開発したオンラインの教育プログラムのひとつ「音景クルーズ」
(2020年/撮影:田邊アツシ)

YCAMは2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぐため、研究開発プロジェクトや作品制作の過程で得たテクニックや知見、開発したソフトウェア／ハードウェアなどを応用して、「オリジナル・ワークショップ」と呼ばれる教育プログラムを多数開発／実施してきました。

いずれの教育プログラムも、人と「身体」「社会」「テクノロジー」との関わり方をテーマとしています。ここで主眼を置いているのは単なる知識強化や課題解決を目指した狭義の「メディア・リテラシー教育」だけではありません。あくまで普段の生活に新たな視点をもたらすことを重視し、それまでになかった価値観を通して物事を捉える想像力／創造力／柔軟性の向上につながるよう設計されています。そのため参加者は、自分自身の好奇心から出発し、YCAMのスタッフや他の参加者とともに考え、試行錯誤していくことで、学校などの他の教育機関とは異なる主体的な「学び」を得ることができるのです。

そして、2016年からは、YCAMが開発した教育プログラムを次世代に向けた新たな教育モデルとして持続的に展開し、より広く発信できるように、「未来の山口の授業」という枠組みをスタートしました。以降は山口市内の小学校と連携しながら授業内での実施も進めています。

今回は、この「未来の山口の授業」の一環として、インターネットにおけるコミュニケーションについて学ぶオリジナルの教育プログラム「ネットにくらす、わたしのひみつ」を新たに開発。YCAMで初めて実施します。

情報の発信者と受信者、双方の立場から考える安全なインターネット



「私はネットでできている？」
(2021年/撮影：ヨシガカズマ)

今回実施する「ネットにくらす、わたしのひみつ」の背景にあるのは、YCAMが2020年から展開している、情報とインターネットの未来をテーマとした研究開発プロジェクト「鎖国 [Walled Garden] プロジェクト」です。このプロジェクトでは、インターネットが私たちの生活の中でライフラインとも言える地位を占め、その一方で一部のIT企業に膨大な個人情報が集約される現状を踏まえ、来るべきインターネットの未来を構想するためのリサーチやワークショップ開発をおこなっています。

「ネットにくらす、わたしのひみつ」は、「鎖国 [Walled Garden] プロジェクト」の成果を応用して開発した、オンラインの教育プログラムです。このプログラムでは、参加者の現在のインターネットに対するイメージを共有したうえで、SNSをモチーフにしたアクティビティを実施します。これは、参加者のひとりが、あるテーマに沿って撮影した写真を架空のSNSに匿名で投稿し、他の参加者とともその写真を投稿した人物の人物像について意見交換をおこなう、というものでこれを繰り返していきます。その後、写真を投稿する側と、それを閲覧して読み解く側、それぞれの立場を通して得られた発見や、そこで発生したコミュニケーションや、そのズレについて議論を重ねます。

一連のアクティビティを通じて、今後さらなる発展が予想されるインターネットにおけるコミュニケーションの特性を理解するとともに、利便性を確保しながら、自分自身を守り、周囲の人々の判断を尊重するための思考や技術について考えを深めていきます。

鎖国 [Walled Garden]

プロジェクト

情報とインターネットの今後について考える研究開発プロジェクト。

今日のインターネットを取り巻く状況を踏まえ、批判的な視点から情報伝達のプロセスを捉え直すためのリサーチを展開している。2020年度は、インターネット上の活動履歴からかたち作られる自分の姿を観察するワークショップ「私はネットでできている」を開発。2022年度にはオリジナルの作品制作を目指している。

<https://special.ycam.jp/sakoku/>

開催概要

未来の山口の授業

ネットにくらす、わたしのひみつ

2021年 11月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)
12月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)
2022年 1月8日(土)、9日(日)、22日(土)、23日(日)
各日 13:00～16:00 ※全12回、各日完結

会場：インターネット（ビデオ会議システム）

参加無料 ※要申込

定員：各回8名（申込多数の場合は抽選）

対象：小学4年生以上

持ち物：

- Zoom（ビデオ会議システム）を使用できるPCなどの電子デバイス
- スマートフォン
- メモを取るための紙とペン ※ノートなども可

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

同時期開催イベント

坂本龍一+高谷史郎+YCAM

ART-ENVIRONMENT-LIFE 2021

2021年10月8日(金)～2022年1月30日(日) 10:00～18:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオAほか

入場無料

音楽家の坂本龍一が、アーティストの高谷史郎とのコラボレーションのもと、2013年のYCAM10周年記念祭にYCAMで制作・発表した3作品を展示する展覧会です。

原瑠璃彦+YCAM 共同研究成果展示

Incomplete Niwa Archives — 終らない庭のアーカイヴ

2021年10月8日(金)～2022年1月30日(日) 10:00～19:00

山口情報芸術センター [YCAM] 2階ギャラリー

入場無料

メディア・テクノロジーを用いて制作された山口市の常栄寺庭園（通称：雪舟庭）のアーカイヴを体験できる展覧会です。

■ 申込方法

下記ウェブサイト内に用意された申込フォームに記入

ウェブサイト：

www.ycam.jp

申込締切日：各回開催前日まで